



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2019年11月29日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆

---

世界初のナウマンゾウ化石

---

横須賀はナウマンゾウの化石が初めて見つかった場所です。

今回は世界初のナウマンゾウ化石である、横須賀製鉄所産の下あご化石についてご紹介しましょう。

1867年、横須賀製鉄所（現：米海軍横須賀基地）の建設のため、白仙山を掘削したところゾウの下あご化石が見つかりました。

下あご化石は、1871年に大学南校（現：文部科学省、東京大学）に送られ、東京帝国大学（現：東京大学）の教授であり、ナウマンゾウの名前の由来となったドイツ人の地質学者エドムント・ナウマン（1854～1927）によって研究されました。

これが世界初のナウマンゾウ化石です。

ナウマンは横須賀製鉄所産の下あご化石をインドの化石ゾウであるナルバダゾウと考えました。

その後、日本人の古生物学者・地質学者である槇山次郎は、静岡県浜名湖や横須賀のゾウ化石がナルバダゾウと区別できることから、1924年にナウマンゾウを命名しました。

横須賀製鉄所産の下あご化石は東京帝室博物館（現：東京国立博物館）天産部に保管されていましたが、1923年の関東大震災の後に天産部が廃止となり、下あご化石の左側は東京博物館（現：国立科学博物館）、右側は学習院に譲渡されました。

学習院の化石は行方不明とされていましたが、学習院中等科・高等科標本室に収蔵されていたことが1999年に明らかになりました。

当館ではこれまで、国立科学博物館所蔵の左側の下あご化石のレプリカだけを展示していましたが、今年度、学習院中等科・高等科より右側の下あご化石を借用し、レプリカを作成しました。

これによって、レプリカではありませんが、左右の下あご化石が約150年ぶりに横須賀でそろ

いました。

左右そろったナウマンゾウの下あご化石のレプリカは、当館2階で展示中です。

(地球科学担当：柴田)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/27863>

◆展示情報◆

巡回展『神奈川県植物誌 2018』と三浦半島の植物たち

2019年12月7日(土)～2020年2月16日(日)

神奈川県立生命の星・地球博物館が2018年に開催した特別展「植物誌をつくろう!～『神奈川県植物誌 2018』ができるまでとこれから～」の一部を巡回展として迎え入れ、神奈川県植物誌調査会三浦ブロックと調査・収集・収蔵した植物資料とともに展示します。

【展示解説】

12月7日(土)、2020年2月8日(土) 14:00～15:00

本館特別展示室

参加自由

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27327>

トピックス展示「ネズミ・鼠・子年」

2019年12月7日(土)～2020年1月18日(土)

2020年の干支である「ねずみ(子)」や、ねずみにちなんだ名のつく生き物を紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27870>

---

トピックス展示「横須賀市のなりたち」

2019年12月14日（土）～2020年3月29日（日）

---

観光リーフレットや市制記念グッズなどの産業や交通、行政関連資料から「市」のなりたちがわかる展示をします。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/27875>

◆イベント情報 ◆

---

研究発表会「みんなの理科フェスティバル」

2019年12月14日（土）、15日（日）

---

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、小中学生による自由研究や理科工作、高校生や大学生・大学院生、研究機関・大学などの教員・研究員、市民や学芸員などによる研究発表・講演会・ワークショップなどを開催します。

文化会館でのイベント

【ポスター・理科工作展示】 12月14日（土）～15日（日） 9:30～17:00

【みる・さわる・つくる！ワークショップ】 12月14日（土）～15日（日） 9:30～17:00

【みんなの発表会】

（1）12月14日（土） 10:00～12:30

（2）12月15日（日） 13:30～16:00

こどもからおとなまで、みんなの研究成果の発表の時間です。

ぜひ聴きにきてください！

博物館でのイベント

【自然館ミュージアムトーク】 12月14日（土） 13:00～14:00 本館2階ナウマンゾウ

前集合

博物館の学芸員が展示や理科フェスのみどころを解説します！

【自然環境講演会】 12月14日（土） 14:00～16:00 本館1階講座室

主催：横須賀市（環境政策部） 共催：横須賀市自然・人文博物館

企画展示「『神奈川植物誌2018』と三浦半島の植物たち」と関連した自然環境講演会です！

講師：大西 亘氏（神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員）、岩崎貫也氏（神奈川大学理学部生物学科特別助教）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/26993>

---

自然観察会「冬の野鳥観察」

2020年1月18日（土）

---

事前申込制。

冬は三浦半島で最も多くの渡り鳥（冬鳥）が観察できる季節です。

水辺や農地などに訪れるカモ類やツグミ類をはじめとした冬鳥を観察します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27037>

---

博物館教室「横須賀ジオツアー（地層観察講座）」

2020年1月25日（土）ほか全5回

---

事前申込制。

三浦半島の地球科学について解説し、横須賀市内の地層や岩石を野外で観察します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27020>

---

天神島ガイドツアー（12月）

2019年12月22日（日）

---

申込不要。

毎月その時々天神島臨海自然教育園の見どころを、現地スタッフが紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/27061>

---

発行：横須賀市自然・人文博物館

---

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>